



日本プライマリ・ケア連合学会  
四国ブロック支部 活動報告

発行人：板東 浩

事務局 〒761-2103  
香川県綾歌郡綾川町陶 1720-1  
綾川町国民健康保険陶病院気付  
副支部長/事務局長 大原昌樹・松原宛  
Tel. 087-876-1185 Fax. 087-876-3795  
E-mail oharamasaki@gmail.com

★1 日本PC連合学会四国支部大会（徳島）のご案内

第14回四国支部学術集会 大会長 海陽町穴喰診療所 白川光雄

日本PC連合学会四国支部大会（徳島）開催まで、あと2か月余りとなりました。改めて、開催要領・一般演題募集要項についてお知らせしたいと思います。数多くの方々と徳島の地でお会いできることを楽しみにしております。一般演題には奮ってお申込いただき、そして懇親会／意見交換会へのご出席もお願いいたします。

<第14回日本PC連合学会四国ブロック支部/四国地域医学研究会 学術集会・合同集会 開催要領>

1. 日程：平成26年11月15日（土）14時00分～18時30分、11月16日（日）08時30分～12時40分
2. 会場：学会 日垂メディカルホール（〒770-8503 徳島市蔵本町2丁目50-1  
徳島大学蔵本キャンパス内 徳島大学病院 西病棟11階）  
懇親会／意見交換会 レストラン Sora（15日18時40分～）（学会会場に隣接：088-633-9393）

3. プログラム 11月15日（土）（1日目）

- 13：00- 研修医・学生臨床  
推論セミナー
- 14：10- 一般講演1日目  
（主に研修医・学生対象）
- 15：40-日本心療内科学会中国・  
四国支部との合同シンポジウム  
テーマ：「日常診療に潜む心身症」  
助言者（予定）：丸山 泉 先生  
シンポジスト：岡田 宏基 先生  
大嶋 完二 先生  
小松 直樹 先生  
板東 浩 先生

- 17：00-特別講演：  
「現代版不定愁訴 MUS の  
概要と対応」  
講師 岡田 宏基 先生
- 18：00-理事長講演：  
「Facts に学び地域を診る」  
講師 丸山 泉 先生
- 18：40-懇親会／意見交換会  
（レストラン Sora）

第14回 日本プライマリ・ケア連合学会 四国ブロック支部  
第21回 四国地域医学研究会

## 学術集会・合同集会

テーマ 「心理面、社会面を含めた全人的な医療を四国から発信！」

日時 平成26年11月15日(土) 14:00～18:30  
平成26年11月16日(日) 9:20～12:40

会場 日垂メディカルホール  
徳島市蔵本町2丁目50番地の1  
(徳島大学蔵本キャンパス内 大学病院西病棟11階)  
懇親会/情報交換会レストランSora(15日 18:40～)  
(会場に隣接 TEL:088-633-9393)

主催 日本プライマリ・ケア連合学会四国ブロック支部  
および四国地域医学研究会の共催

申込み締切 演題/10月14日(火)  
懇親会/11月6日(木)

11月15日(土)  
15:40～17:00  
シンポジウム/演題「日常診療に潜む心身症」  
17:00～17:50  
特別講演/演題「現代版不定愁訴 MUS の概要と対応」  
講師：岡田 宏基 先生  
(香川大学医学教育講座教授・医学部教育センター長)

18:00～18:30  
理事長講演/演題「Facts に学び地域を診る」  
講師：丸山 泉 先生  
(医療法人社団豊泉会理事長・同丸山病院院長)

11月16日(日)  
9:20～12:30  
一般演題(研修医・学生以外対象)

【大会長】白川 光雄 (海陽町穴喰診療所) E-mail sisisih@titan.ocn.ne.jp  
【事務局】日本PC連合学会徳島県研究会  
申込み&問合せ 担当：板東 浩 E-mail pianomed@bronze.ocn.ne.jp

11月16日(日)(2日目)

8:30- 後期研修医ポートフォリオ発表会

9:20-12:30 一般講演2日目(主に研修医・学生以外対象)

4. 会費 大会参加費:1,000円(医師・歯科医師)、無料(研修医 学生 他職種)  
意見交換会:5,000円(医師・歯科医師)、3,000円(研修医 他職種)、1,000円(学生)
5. 単位 日本プライマリ・ケア連合学会認定医更新単位 4.5単位(1日目)、4.5単位(2日目)  
日本プライマリ・ケア連合学会認定薬剤師更新単位 4.5単位(1日目)、4.5単位(2日目)  
日本医師会生涯教育単位 4.5単位(1日目のみ)
6. 参加申し込み 大会参加の事前申し込みは不要です。  
※懇親会/情報交換会は事前申し込みが必要です。11月6日(木)までに下記連絡先へ
7. 一般演題募集要項 発表時間は質疑応答を含め、1題7分を予定(演題数により調節)。  
発表形式:講演発表をすべてWindows Power Point 2003以降のパソコンによるプレゼンテーションとさせていただきます。データはE-Mailに添付または、ファイル送信ソフトにて事務局まで送信下さい。USBメモリーまたはCD-R等に保存して郵送も可です。データの締切:11月6日(木)必着。  
演題申し込み:題名、所属、演者、共同演者、抄録内容(約600字)を作成し下記事務局までE-Mailで。  
演題申し込みの締切:10月14日(火)
8. 大会参加・演題発表に関する申し込み先  
第14回日本PC連合学会四国ブロック支部大会、第21回四国地域医学研究会 合同集会  
事務局 E-mail: [pianomed@bronze.ocn.ne.jp](mailto:pianomed@bronze.ocn.ne.jp) (徳島県プライマリ・ケア研究会・世話人代表)  
板東 浩(ばんどう ひろし) 〒770-0943 徳島市中昭和町1丁目61

## ★2 愛媛県研究会における最近の活動

四国ブロック副支部長(愛媛) 川本龍一

### 1) 地域で「生きて逝く」を考える(平成26年5月21日、西予市)



香川県国保陶病院院長である大原昌樹先生をお迎えして、終末期医療の在り方、地域医療を行う我々が今後どのような視点で取り組むべきか、地域への働きかけなどについて詳しくお話をしました。

### 2) EBM Workshop Ehime 2014(平成26年6月21日~22日、東温市)

愛媛大学医学部の有志の運営により、東京北医療センター総合診療科の南郷栄秀先生を迎えてEBMの使い方に関するワークショップを開催しました。

EBM導入のレクチャーに始まり、文献検索の方法、論文の正しい読み方に関するワークショップが行われました。岡山や広島から参加された薬剤師さんや医学部1年生にもわかりやすいレクチャーでした。

翌日には、野村町を舞台としたモービルCTについてのワークショップもあり、最後まで盛況に行われました。





### 3) 第14回愛媛プライマリ・ケア研究会 (平成26年7月12日、松山市)



一般演題9題は、学生や研修医、現場で活躍されている在宅医療医などからの夏の暑さを吹き飛ばすような熱のこもった内容でした。特別講演の佐藤勝先生は、超高齢社会に向けて叫ばれ始めた地域包括ケアをどこよりも早く取り入れられ、保健・医療・福祉の輪の中で行政や地域住民を巻き込んだ地域包括ケアを実践されており、「地域をケアする」取組みについて熱のこもったご講演をいただきました。

### 4) 地域医療の魅力を知る バスツアー (平成26年7月20日、西予市)

学生主催のワークショップが西予市野村町で開催されました。病棟実習、往診の体験、多職種連携に関する各職種の役割について学んだ後、地域医療の魅力と題して各グループで話し合い意見を共有しました。

引き続き、地元のミルクを使った料理を食べ、楽しく充実した一日を過ごしました。



## ★3 小豆医療圏の現状と課題～公立病院再編に向けて～

### 小豆医療組合 佐藤清人



小豆島は、瀬戸内海に浮かぶ人口約3万人の島です。高松から最短で30分(土庄航路・高速艇)と交通アクセスは離島としては比較的良いのですが、夜間や悪天候時は、島外への移動手段が無く孤島となり、救急医療は島内で完結することが求められます。しかし、既存の公立2病院(土庄中央病院、内海病院)の現状を見ますと、両病院とも、医師等の不足(ピーク時14名だった内科常勤医は現在8名に、外科常勤医は5名が現在0名)に悩み、24時間365日の医療提供を継続することが難しい状態に陥っています。

そこで、現在の公立2病院を統合し、人的資源のほか医療器械等の効率的な配置を行うことによって、経営基盤を安定化させ、将来にわたって、小豆島の住民の皆様が、安心して暮らせる医療の継続的な提供体制を確立するため、平成28年春に新しい公立病院「小豆島中央病院」が誕生することとなりました。

平成24年4月に「小豆医療圏公立病院建設準備室」が立ち上がり、同年6月、香川県から両町の事務を共同処理するための一部事務組合の設立許可を受け、「小豆医療組合」が開設されました。私は平成25年5月、医療に関する事務を所掌する医療管理者を拝命し、香川大学等の支援のもと、準備を進めてまいりました。

先日7月26日、小豆島中央病院新築工事に先立ち、浜田香川県知事、久米川香川県医師会長、八木小豆郡医師会長をはじめ、ご来賓の方々や関係者など約100名の出席のもと、起工式を行いました。

今後は、平成27年4月に企業団へと移行し、平成28年春の開院に向け、鋭意努力してまいります。まだまだ課題は山積しております。地域における真の中核病院として、島民が安心できる政策的な医療の提供を行うほか、災害発生時には災害拠点病院としての役割も担うこととしており、島民全員から親しまれ、信頼される病院となるよう、努めてまいります。今後とも、会員の皆様のご指導・ご支援をよろしくお願いいたします。

## ★4 四国ブロック支部役員紹介 (順次記載、本号では高知7名)

四国ブロック副支部長(高知) 澤田 努

**青木啓祐** (津野町国保杉ノ川診療所) :

平成 21 年より中山間地域の無床へき地診療所で所長として勤務しています。外来診療、在宅訪問診療、特養・グループホームの嘱託医、産業医活動、保健福祉活動など地域包括ケア全般の業務を行っています。その他、医学生の地域医療実習と初期研修の地域医療研修でも教育・指導をしています。よろしくお願いします。

**阿波谷敏英** (高知大学医学部家庭医療学講座) :

「平成 19 年から高知大学で地域医療教育、地域家庭医の養成、地域枠学生のサポート、土佐山へき地診療所の運営をしています。今後、新しい専門医制度への対応が急務と考えています。県内の先生方と協力して引き続き人材育成、医療再生に取り組んでいきたいと思っています。

**武内世生** (高知大学医学部総合診療部) :

総合診療の他に HIV 診療・感染対策・入学試験などを担当しながら、大病院での「病院総合診療医」のあり方を模索しています。学生・研修医に対しては医療面接や臨床推論を中心とした基本的臨床能力を教育しています。また、総合診療関連の研究にも取り組みたいと思っています。

**佐野良仁** (佐野内科リハビリテーションクリニック) :

高知県香美市で内科全般・心療内科・リハビリテーション科(通所リハ併設)の無床診療所をしております。家庭医療専門医として、高知大学医学部 5 年生の『プライマリ・ケア実習』と『総合内科実習』の外来実習・教育をしています。また、高知県内の初期臨床研修医や若手医師、医学生を対象の中心として、有志の指導医の先生方と一緒に、『高知臨床推論ケースカンファレンス』を開催しています。町医者における、“臨床”と“教育”と“研究”の三位一体で続けて、“町医者のやりがい”を伝え続けていきたいと思ひます。

**澤田 努** (高知医療センター地域医療科) :

高知医療センターでは総合診療科や ER 責任者としての業務を担い、その他に高知県へき地医療支援機構専任担当官として、へき地診療所の代診調整やへき地医療情報ネットワークの管理運営、臨床研修「地域医療」のコーディネートなどにも取り組んでいます。へき地医療のやりがいや魅力について若手医師や医学生の皆さんに実感してもらえる環境づくりを引き続き目指していきたいと考えています。

**瀬尾宏美** (高知大学医学部総合診療部) :

循環器内科を専攻していましたが 15 年前に総合診療部に異動しました。総合診療の実践を通じて、診療技能教育や臨床推論などの臨床教育を中心に活動しています。今後導入される医学教育認証評価を視野に学部教育のあり方を見直しているところです。これからは「地域で取り組む医学教育」の重要性が高まるものと考えています。

**夕部富三** (いずみの病院内科) :

当院は高知市北東部の基幹病院として地域医療取り組んでいるケア・ミックスの病院です。高知大学の学生のプライマリ・ケア実習も引き受けています。私自身は内科系総合医として、臨床に携わり緩和ケアも受け持っております。高知県の地域医療を考えながら、日々の診療に取り組んでおります。何かとよろしくお願ひいたします。

**★5 本学会 HP の中にブロック支部ニュースレター**

**四国ブロック支部 板東 浩、大原昌樹**

日本 PC 連合学会のホームページ (<http://www.primary-care.or.jp/>) の中に、ブロック支部のコーナーがあり、従来 8 支部から発行されたニュースレターが閲覧できます。四国ブロック支部は各 4 ページ構成でいろいろな話題や写真などが盛り込まれています。 [http://www.primary-care.or.jp/shibu/shibu\\_nl.html](http://www.primary-care.or.jp/shibu/shibu_nl.html)